

高岡市教育将来構想市民懇談会及びパブリックコメントの実施結果について

第5回高岡市教育将来構想検討会議（平成31年2月4日開催）において取りまとめを行った、「青年の家、二上まなび交流館における基本的な方向性について（骨子案）」の市民懇談会及びパブリックコメントの概要は次の通りである。

1 高岡市教育将来構想市民懇談会

(1) 開催状況

	開催日	会場	参加者数
第1回	2月19日(火)	万葉社会福祉センター	42名
第2回	2月20日(水)	高岡市青年の家	23名

(2) 主な意見等

■ 青年の家について

- ・現在の施設運営や今後の方向性について、現状は理解した。
- ・施設については、できる限り存続してほしい。
- ・受益者負担の増加に伴う利用料の見直しについては配慮をお願いしたい。
- ・能舞台については、長期的な展望について協議を望む。弾力的な運用については工夫したい。

■ 二上まなび交流館について

- ・子どもたちの健全育成に必要な施設であり、運営状況に関わらず、今後の費用についても行政が負担すべき。
- ・指定管理期間終了後における施設の活用について、より具体的な協議の機会を望みたい。
- ・全ての機能を廃止せず、機能縮小による活用を検討してほしい。
- ・運営改善のため、利用料金を見直して対応すべき。

2 パブリックコメント

(1) 募集期間

平成 31 年 2 月 5 日（火）から 2 月 18 日（月）まで

(2) 実施結果

総件数 33 件

<内訳>

性別：男性 23 件、女性 10 件

年代：30 代 3 件、40 代 3 件、50 代 20 件、

60 代 3 件、70 代 1 件、80 代 1 件、不明 2 件

中学校区：高陵 1 件、高岡西部 2 件、南星 3 件、志貴野 6 件、芳野 5 件、
伏木 8 件、国吉 1 件、牧野 1 件、五位 2 件、戸出 2 件、
中田 1 件、福岡 1 件

(3) 主な意見等

■青年の家について

- ・一定の施設利用者があり、当面維持という方向性について賛成だが、コミュニティーセンターや公民館等、市が保有する他施設でも活動が可能であり、維持管理に多額の予算を投じることが懸念される。
- ・施設の認知度が低く、今後の広報活動に期待する。
- ・能舞台については、解体移築や撤廃を含め、存続について検討する必要がある。

■二上まなび交流館について

- ・施設の早期廃止については、残念、寂しいとの思いがあるが、施設の老朽化や財政状況を考えると、廃止はやむを得ない。
- ・維持管理費が年間約 5,000 万円で利用料収入が約 700 万円と、市がほとんどの経費を負担している状態では存続は無理だと考える。
- ・クリーンセンター同様に高岡地区広域圏で行えば利用者の増加が見込めるのではないか。
- ・食事が充実していない宿泊は、子供たちにとって寂しく感じた。給食業者の弁当による食事は、施設のデメリットと強く感じた。
- ・宿泊学習はできなくなるが、管理棟を建て、炊事場やそれに伴う道具を残すことで、小学生が日帰りで自然に囲まれ野外活動を体験する場を提供することができる。

- ・ 野外炊飯場の継続等、子供たちの豊かな体験が今後もできる設備は存続の方向が望ましい。
- ・ 宿泊学習ではなく、終日校外学習として、いろいろな野外活動（二上山登山を含む）ができる施設のメリットは今後に残してほしい。
- ・ 二上山や地元と連携を図る新たな活用策に期待する。
- ・ 廃止を機会に、別施設で子どもたちに新たな体験をさせたい。
- ・ 今後については、二上山の自然等を学習できるネイチャーセンターのような機能は残してほしい。
- ・ 高岡市の子供たちの健全な成長に資する場として生まれ変わることを願っている。
- ・ 朽ちていく姿は見たくない。建物はすぐに撤去し、安心してハイキング等が行えるよう、第2万葉植物園等に利用して、施設の跡地や万葉植物園までの歩道整備を続けてほしい。